

明石工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語Ⅱ-1	
科目基礎情報							
科目番号		5201		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		都市システム工学科		対象学年		2	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		「精選文学国語」(明治書院)・「精選古典探求 漢文編」(明治書院)・「新訂総合国語便覧」(第一学習社)					
担当教員		善塔 正志					
到達目標							
1) 論理的な文章(随筆)の構成や展開を理解し、要約できる 2) 文学的な文章(小説や詩など)を表現に即して読み取り、その表現の特質について自分の意見を述べることができる 3) 日常的に用いられる漢字や語句を正しく理解し、活用できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に理解し、要約した上で自分の意見を述べることができる		論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を遺漏なく理解し、要約できる		論理的な文章(論説や評論)の構成や展開についてキーワード等の補助がなければまとめることができない	
評価項目2		文学的な文章(小説や詩など)について、歴史的な背景や知識をもとに表現に即して読み取り、その表現の特質について自分の意見を述べることができる		文学的な文章(小説や詩など)を表現に即して読み取り、その表現の特質について理解することができる		文学的な文章(小説や詩など)を読み、おおまかな内容しか理解できない。	
評価項目3		日常的に用いられる漢字や語句を正しく理解し、日常生活や研究の中で自由に活用することができる		日常的に用いられる漢字や語句に関心を持ち、吸収しようと心がけることができる		日常的に用いられる漢字や語句について、理解が十分でない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		概要:小説・随筆・漢文を通して、読解力と思考力を獲得することを目的とする。文章の構成・展開・要旨などを的確にとらえ、知識と感性を養う。					
授業の進め方・方法		講義形式で行う。適宜、質疑応答を行いながら、批評する力を身につける。なお、期末試験のほかに小テストを課し、学習の到達度を確認する。					
注意点		事前学習によって問題点を明らかにした上で、授業に集中し、意欲的に臨むこと。 評価の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス・「山月記」(中島敦)の読解		今年度の国語の授業の進行・準備物について理解することができる		
		2週	「山月記」(中島敦)の読解		小説の主人公について、典拠を踏まえて人物像を理解することができる		
		3週	「山月記」(中島敦)の読解		表現の特徴に注意しながら、小説の展開を理解することができる		
		4週	「山月記」(中島敦)の読解		登場人物の心情と情景描写の効果について理解できる		
		5週	「山月記」(中島淳)の読解		小説の展開を整理し、全体的な主題を理解することができる		
		6週	「言葉によって」(大江健三郎)の読解		本文の作家・構成・主題を理解することができる		
		7週	「言葉によって」(大江健三郎)の読解		本文の作家・構成・主題を理解することができる		
		8週	「汚れつちまった悲しみに」(中原中也)の読解		作家・作品の構成と主題を理解することができる		
	2ndQ	9週	「鞆」(安部公房)の読解		登場人物の人物像を理解することができる		
		10週	「鞆」(安部公房)の読解		表現の特徴に注意しながら、小説の展開を理解することができる		
		11週	「鞆」(安部公房)の読解		小説の展開を整理し、全体的な主題を理解することができる		
		12週	儒家・道家について		日本文化に影響を与えた中国戦国時代の思想を理解することができる		
		13週	「五十歩百歩」(孟子)の読解		故事としてなじみのある文章を通して儒家の考え方を理解することができる		
		14週	老子・荘子の読解		寓話を通して老荘思想を理解することができる		
		15週	問題点の整理		問題となった諸点を振り返り、様々な文学的文章の特徴、儒家・道家の思想内容を整理することができる		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。		2	前2,前3,前5,前7,前10
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。		2	前6

				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	前1,前8,前9,前11,前13,前14,前15
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	前4,前10
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	前9
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	前12,前15
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	前2,前3
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	前4
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	2	前11
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	2	前10,前11
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	2	前12

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0